

# SSKW 働こう障害者も 働けるんだオしたちも

# こぶしだより

企画：社会福祉法人 こぶしの会 責任者：藤田 勝春 編集責任者：鈴木 順子  
編集：こぶし作業所 (〒321-0902) 宇都宮市柳田町1401番地

特集

貧困な福祉政策、平和の問題、労働条件の改善…  
職員の自主的な活動の場  
「労働組合」



イルカショーに大満足 (こぶし作業所：三津シーパラダイスにて)

No.285



## ～ 目 次 ～

- ① 特集…………… 2～3 P
- ② こぶし作業所のページ…………… 4 P
- ③ けやき作業所のページ…………… 5 P
- ④ サポートセンターのページ…………… 6 P
- ⑤ セルプ・みらいのページ…………… 7 P

貧困な福祉政策、平和の問題、労働条件の改善！

# 職員の自主的な活動の場 「労働組合」

こぶしの会を構成する集団のひとつに職員集団があります。

この職員集団は、利用者の生活を保障し、生活の技術や作業面での能力を導き出す働きかけの主体となるのと同時に、こぶしの会の関係団体と一緒に作業所の運営を支え、充実させる集団です。

こぶしの会には自主的な活動の場として、利用者には自治会があり、職員集団には労働組合があります。今回、特集では、この職員集団の一部の活動ではありますが、労働組合の紹介をいたします。

## 労働組合ってどんなところ？

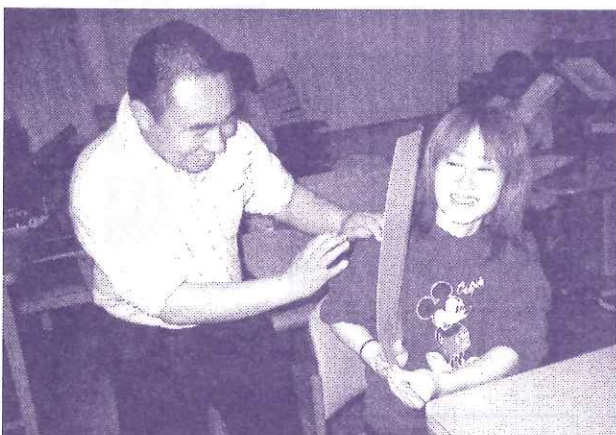
こぶしの会には、全国福祉保育労働組合栃木支部「こぶし分会」があります。

こぶしをはじめとして、全国の作業所や施設、保育所に労働組合があり、福祉政策の充実、平和の問題、そして私たちの労働条件改善の活動を展開しています。こぶし分会は職員の三〇%が組合員です。月に一回、分会役員会議と、組合員全員参加の分会会議を開催しています。

## \*福祉をとりまく状況

二〇〇三年度から、障害者施設をとりまく状況は大きく変わりました。それまでの措置制度から、利用者本位と選択権の尊重を掲げた支援費制度へ移行し、利用者とした施設は契約関係となりました。しかし、施行後一年も経たないうちに大幅な財政不足をきたしたので、国はこの問題を介護保険との統合を図ることで解決しようとしています。一〇月一二日に障害種別を越えて一元的に規定しようとするグラウンドデザイン案が提示さ

れ、関係各団体等で検討がされています。



1 特集

支援費制度の移行によって施設経営は財政的に不安定になりました。

このことは、施設利用者や職員を守る経営基盤の確立ができないという状況をつくりだしています。利用者にとっては、支援費単価の引き下げによって、選んだ施設、事業所のサービスの充実すら危ぶまれる内容の制度であること、職員にとっても民間給与改善費や産休代替補助金などの公私間格差是正策がなくなり、高い専門性の求められる仕事であるにもかかわらず賃金等の保障が危ぶまれる制度なのです。

\* 私たちの状況とこれから…

このような状況の中で、こぶしの会の職員は、皆、利用者の支援に全力で取り組んでいます。

常に利用者の立場に立って、利用者が個人として尊重され、地域の中でいきいきと暮らすことができるような生活の質の向上と自立に必要な支援をすること…

働く喜びや充実感、自らも社会

の一員として貢献しているというやりがいや生きがいを感じることもできる支援をすること、等々…

しかし、これらの支援を充実させるには、社会資源や制度がまだまだ不十分です。

地域の中で声を上げていくのももちろんのこと、全国的な運動にも積極的に関わっています。また、障害者をめぐる制度の貧困さは、働く私たち職員の処遇への貧困さでもあります。福祉制度の充実を図り、支援を充実し、利用者の自己実現を図ることは、結果的に私たち職員の自己実現につながっているのだと考えます。しかし、利用者への支援は決して八時三〇分から一七時の時間内に終わる仕事ではありません。支援を充実させるための仕事や、毎日の記録等の整備が時間外で行われており、今の制度の中では手当の保障も充分でないという現状があります。納品やイベント等が重なる職員が朝早く出勤して準備を進めています。

す。毎日が本当に忙しく、これから先、健康で安心して働き続けていけるのだろうかという不安を抱えているのが現実です。そこで、組合では会議の中で情勢を学習し討議しつつ、仕事上の問題等を出し合う中で、各職場で解決すべきことは話し合いを尽くし解決を図ること。全体的な問題については団体交渉を行い要求として理事会に上げ、解決していきます。組合員一人ひとりの声を大切にし、何が問題なのか、原因なのかをしっかりと見極めて解決方法を考えることが大切だと思っています。

国や行政に対しては理事会と共同して働きかけていくことも大切だと考えています。

こぶし分会では、去る一〇月二

九日に分会大会を開催し、役員体制も新たにし、これまで組合活動を進めてきた先達に学びながら活動を進めています。新しい組合員が増え、正規職員だけでなく、臨時職員の組合員も増えました。ほ

とんどが組合活動が初めてということもあり、私たち自身、学習を基本において活動しています。組合が組合員でない職員にも見えるようにニュースの発行も始めました。組合員同士の交流も図り、楽しいことも取り入れていこうと思っています。こぶし分会の活動は始まったばかりですが、こぶしの会を組織する一員として微力ではありますが頑張っていこうと思っています。

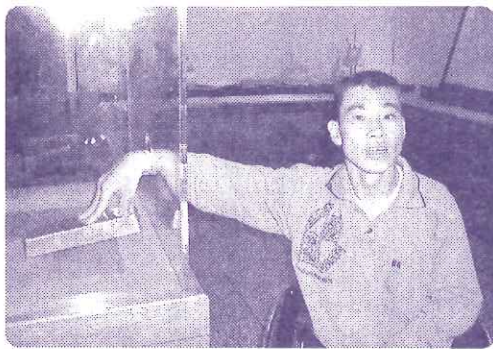


# こぶし作業所ニュース

## こぶし作業所親睦旅行

一月四日、五日に西伊豆方面へ旅行に行きました。台風が心配されていましたが、みんなの願いが通じて、二日間とも空は晴れ渡っていました。遠方ということでも、長距離のバス移動でしたが、カラオケをしたり、ビデオを見たりして疲れも見せず、大盛り上がりの車内でした。バスに揺られること五時間、土肥金山と三津シーパラダイスの二ヶ所を観光しました。金山では、山の中の洞窟を歩いたり、三億円の金塊を触ったりし「これで大金持ちになれる」なんて声もありました。また、シーパラダイスでは、イルカやアシカのショーを観たり、遊覧船に乗ったりしました。あまり体調がよくなかったのか、何度も失敗をするイルカもいて、大きな笑い声が場内に響いていました。遊覧船では、最初は顔がこわばっていた仲間も船が動くにつれて、とても生き生きとしていました。仲間の一人からは「たまには船もいいもんだな」なんて意見もありました。新鮮な魚介類を食べ、温泉にもつかり、とてもリラックスすることができた二日間でした。帰りの車内では「来年の旅行が楽しみだ」なんて早すぎる言葉も聞こえてきました。

看護師の高橋さん、ボランティアの和田さん、穴戸さん、国際医療福祉大学の学生のみなさん、本当にありがとうございました。



### 支援センターのパンフレット ができました!!

「こぶし作業所内宇都宮市障害者生活支援センター」では、ホームヘルプサービスなどの居宅サービスや授産施設等の施設サービスについて、具体的なご利用例を紹介したパンフレットを作成しました。

「サービスがあることは知っていても、自分（あるいはご家族の方）の生活のどのよう  
にそれを取り入れたらよいか分からない」という方や、「何かあったら心配と思って、とりあえずショートステイの申し込みをしたんだけど、全く利用していないし、どこの事業所とも契約していない」という方…いらっ  
しゃいませんか？今までサービスを利用したことがなくても、一つ取り入れることによって、生活や行動の幅が広がったり、また、新たな目標や希望が出てくるかもしれません。皆さんに見ていただき、ご自分やご家族の生活の手助けやヒントにもつながれば、と思っています。

(パンフレットのほしい方はご連絡ください)  
連絡先 028-613-5703

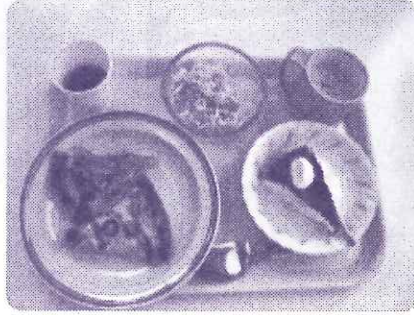
### こぶし作業所の行事食(お楽しみメニュー) について紹介します

年間の行事に沿って、その行事に合った食材を使い、利用者の方に各行事を知っていただいたり、それと同時に舌や目をとおして季節を感じていただきたいと思います。そして実施しています。

ときには普段の昼食では味わえないメニューがでることもあります。またメニューだけでなく、食堂の飾り付けも好評です。時には選択食との組み合わせや、利用者の方にメニューをリクエストしていただいたりしています。みなさん楽しみに待ってくださいます。

例：10月29日お楽しみメニュー【ハロウィン】

- メニュー ピザ(選択)、かぼちゃスープ、サラダ、かぼちゃプリン、ウーロン茶
- 飾り 食堂にハロウィンにちなんだポスターを貼り、かぼちゃの置物を用意し飾りました。



# けやき作業所

## 新任職員紹介

稲葉 理恵さん(第2けやき作業所)

はじめまして。九月から第2けやき作業所のスタッフとして勤務することになった稲葉です。

最初、この作業所に来て抱いた第一印象は、さすが廃校利用とだけあって他の作業所に比べて「広い!」ということでした。そして、かつての教室や給食室、職員室が、そのまま作業所や厨房へと再利用されていたことが、とても新鮮でした。まるでランドセルを背負って通っていた小学生の頃の自分に戻ったような感覚になり懐かしい気持ちになったことを覚えています。

そして、第2けやきに来所されるメンバーも、みんな個性的でおもしろく、いい人ばかりで一緒に作業をしていて居心地がいいのです。いつも冗談を言って笑わせてくれる

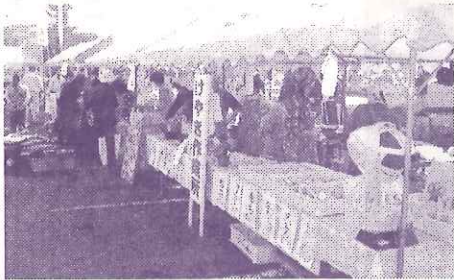
方、無口だけど、いつもニコニコみんなを和ませてくれる方、マイペースに自分の好きなパソコンに熱中してる方、休み時間に二階のほっとC H Aでお茶を片手にくつろいでいる方など。お話をしていると教えていただくことも多く自身のサポートとしての役割を日々考えさせられる毎日です。

厨房の給食も、とてもおいしく、下請けの仕事でメンバーと共に、時に忙しく、時にはゆつたりとした時間の中で頑張っています。障害も強い個性に変えてしまうメンバーの力、他のスタッフのサポート体制をみていて、すごいなあと日々感心しています。みんなでこれから何ができるのか、すごく楽しみです。



### 芳賀町民祭、市貝町民祭参加

11月7日(日)、14日(日)と開催された町民祭に参加しました。協力してくださった地域のみなさん、ありがとうございました。



### 宇都宮短期大学の宮下仁美さんが実習来所

2週間という短い間でしたが、みんなと楽しく作業したり、散歩に行ったり大変勉強になりました。ありがとうございました。(写真中央上:本人)



一月二日(日)から二三日(火)に開催された宇都宮大学祭にパン販売にいらっしゃいました。たくさんの方々のボランティアの方々と販売、見学させていただきました。ありがとうございました。



一月一四日(日)、黒羽町のりんご園にて、りんご狩りを開催しました。それぞれ思い思いのりんごを取っておいしかったよ!

## 今日のホリデイ

県東ライフサポートセンターだより

# ほっとCHA

早いもので「師走」であらね。字のひらく走り回るくらい忙しい日々をお過ごしの方が多いのでしょうか？

今は空気も澄んでいて夜空がとてもきれいであ！ちょっと寒いのであがカーテンを開けて大自然のづらな夕日やうらみを鑑賞するものいいであらね。

## 今年も晴れました！ バス旅行

この見出しだけで何のことかお分かりになる方はすばらしいですね。ほっとCHAでは一月二十七日に二回目のバス旅行に行ってきました。

さわやかな秋の日差しをたくさんあびながら、袋田の滝、馬頭のゆりがねの湯、いわむらかずお美術館をまわってきました。紅葉は少し終わっていましたが、のんびりと滝を眺め、温泉につかり、芸術の秋を楽しむことができました。今回は初参加のメンバーがいたりご家族の参加があったりとスタッフにとってもワクワクの充実した一日となりました。

来年こそは泊りがけでのんびりと出かけたいなあと思うのは私だけでしょうか？参加された方からたくさん感想をいただきました。その一部をご紹介します。

### メンバーさんの声

・お天気も最高で、楽しい一日でした。美術館も良かったです。お世話になりました。

・滝を見て心を清め、温泉で体を清め、ハッピーでした。

・ひさしぶりの息抜きをさせてもらいました。とてもよかったです。またどこかに旅行がありましたら

ご招待ください。

・あまりお金を使わないようにしようと思っていたのにやっぱり使ってしまった。美術館に行けて、目の保養になって、ますますハートに絵ごころの火がともりました？天気も晴れてすごくいい日になりました。

今回も福祉バスを使わせていただきました。一日快適な旅を提供してくださった運転手の増山さんどうもありがとうございました。

## 写真コーナー



ほっとCHAでは行事のときなどにメンバーとともに活動して下さるボランティアを募集しております。「トキトキ・ワクワク」を一緒に体験してみませんか？

## ヒーブル

小藤さんはほっとCHAのボランティアさんの一人です。遠く栃木市からかけつけてくださり、メンバーとともに楽しいひと時を過ごされているようです。メンバーにとって一番身近なボランティアさんとなっています。

友人に勧められ、ボランティア活動に参加させていただくようになったから早くも一年余りが過ぎました。活動当初は緊張のため、ぎこちない会話が続きましたが、時間の経過とともに共通の話題も増えてゆき、今では時折冗談を交えながらおしゃべりができるまでになりました。これから「一期一会」の気持ちを大切に、多くの人々に励まされながら、互いに助け合い、一歩ずつ成長していけたらと思っています。

ボランティア 小藤 幸夫さん



# みらいニュース



※皆さん、ごきげんよう！お願いします。

## 大塚輝夫さん (31歳)

リサイクル班に所属しました。お茶・コーヒーが大好きです。恥ずかしがりやのようですが、だいぶみらいにも慣れてきて自分の意思を伝えようとする場面が増えてきました。



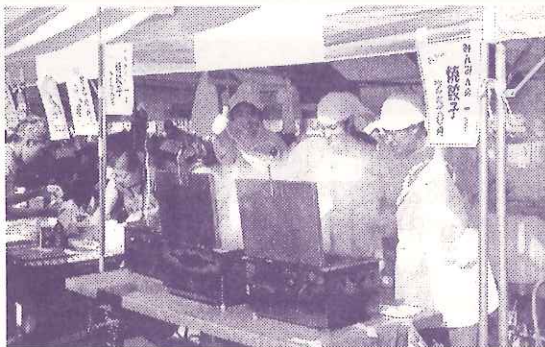
一月八日から大塚輝夫さん、二月一日から池田哲也さんが新しい仲間となりました。

新しい仲間が増えました!!



## 池田哲也さん (30歳)

下請け班に所属しました。きむらのかきもちの箱の身折り(下の部分)を担当しています。完璧な箱を作るので下請け班の戦力になっています。目指すは一般就労！頑張るぞ!!



## 11月23日(火) 真岡市産業祭

セルプ・みらいとしては今回初めての参加でした。餃子に炊き込み御飯、下関のかまぼこ、フラワーアレンジメントと品揃えも豊富。お昼近くになるとお客さんも徐々に来はじめ、テントはにわかに活気付きました。



## 11月13日(土) 第6回みらいフェスタ

催事コーナーでは、フラダンスやフラメンコ、語り部、落語が催されました。また、いつもとは違う雰囲気模擬店は室内で行われました。



家がみらいの近所ということで、是非また遊びに来てくださいな。五日間、お疲れ様でした。

「素直に楽しかったという感想があげられます。五日という短い時間でしたが、職員の方や利用者の方と仲良く過ごせて良かったです。私にとって、貴重な日々が送れたと思います」

## (寺澤さん感想)

一月二十九日(月)～二月三日(金)の五日間、小山市の中央福祉医療専門学校一年生の寺澤幸子さんが実習を行いました。下請け班の作業を中心に弁当班、リサイクル班の作業も行いました。明るくはきはきした寺澤さんはすぐに仲間の人気者になりました。感想をいただきましたので紹介します。

みらいの  
実習生紹介

僕たちのこと  
 もっと知ってほしい!

**ボランティア大募集**

けやき作業所では、作業・創作活動・GHなどで、利用者さんとの交流をして下さる方を大募集!

興味ある方は、まず連絡を!

けやき作業所  
 028-687-1040






**こぶし作業所・後援会  
 ボランティア大募集!**

1. 日常の利用者の作業補助
2. キッチン・セルフ (軽食喫茶店) の作業補助
3. フリーマーケットの準備・参加 (毎月第4日曜日)

お待ちしています


お問い合わせ こぶし作業所  
 ☎028 (662) 1911

**休日を利用して**

体験ボランティアしてみませんか?

○第2けやき・ライフサポートセンターは、なし畑に囲まれたのどかなとつてもよいところですよ!

☆第2けやき作業所  
 ☆県東ライフサポートセンター



**セルフ・みらい**

**ボランティアさん募集!!**

- 箱折り
- プールを取り戻し糸且み (※1-3火曜日AM中)

※詳しくは、セルフ・みらいまで...  
 ☎0285-81-1155



社会福祉法人 **こぶしの会**

- 法人事務局 こぶし作業所 ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401  
 TEL 028 (662) 1911 FAX 028 (662) 1912  
 TEL 028 (613) 5703  
 E-mail kobusi@chive.ocn.ne.jp
- 生活支援センター ☎320-8508 栃木県宇都宮市若草1-10-6とちぎ福祉プラザ内  
 TEL 028 (622) 0966
- こぶしのときわ荘 ☎321-3235 栃木県宇都宮市鎌山町字東原146-7  
 TEL 028 (667) 5531
- けやき作業所  
 デイサービスセンター ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244  
 TEL 028 (687) 1040 FAX 028 (677) 5789  
 E-mail keyaki@carrot.ocn.ne.jp
- 第2けやき作業所 ☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532  
 TEL 028 (677) 0495 FAX 028 (687) 4818  
 E-mail inageda@fancy.ocn.ne.jp
- 県東ライフサポートセンター  
 ● すずらんの家 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2  
 TEL 028 (677) 4430
- けやきハイツ ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井178  
 TEL 028 (677) 2876
- 第2けやきホーム ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井1204-4  
 TEL 028 (677) 0776
- セルフ・みらい ☎321-4363 栃木県真岡市亀山1043-23  
 TEL 0285 (81) 1155 FAX 0285 (81) 1177  
 E-mail selp-mirai@carrot.ocn.ne.jp

発行所 郵便番号 175-0033

東京都世田谷区砧六-二六-二一  
 特定公益活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価五〇円